

地球惑星科学委員会 地球惑星科学国際連携分科会（第26期・第4回）

議事要旨

1 日 時 令和6年10月11日(金) 13:30～15:30

2 方 法 オンライン会議 (Zoom)

3 出 欠

出席：倉本圭、三枝信子、佐竹健治、中村卓司、西弘嗣、堀利栄、矢野桂司、
藪田ひかる、伊藤香織、大谷栄治、掛川武、春日文子、塩川和夫、鈴木康弘、張勁、
土屋旬、村山泰啓、榎本浩之

欠席：沖大幹、小口高、齋藤文紀、藤本正樹

4 議 題

- (1) 前回議事要旨の確認
- (2) 各分科会・小委員会からの報告
- (3) 加入国際学術団体の活動状況調査について
- (4) 分科会委員の追加について
- (5) その他

5 配布資料

資料1-1 地球惑星科学国際連携分科会（第26期・第2回）議事要旨

資料1-2 地球惑星科学国際連携分科会（第26期・第3回）議事概要

資料2-1 IASC 小委員会報告

資料2-2 IMA 小委員会報告

資料2-3 INQUA 小委員会報告

資料2-4 SCAR 小委員会報告

資料2-5 SCOSTEP-STPP 小委員会報告

資料2-6 FE・WCRP 合同分科会報告

資料2-7 SCOR 分科会報告

資料3-1 地球惑星科学委員会関係加入国際学術団体加盟料

資料3-2 加入国際学術団体に関する調査票 (IUGG)

参考資料1 日本学術会議が加入している国際学術団体の活動状況に関する調査の実施
(事務連絡)

6 議事内容

(1) 前回議事要旨の確認

委員長より、前回議事要旨の説明があった。

(2) 各分科会・小委員会からの報告

資料2-1～2-7に基づき、IASC 小委員会、IMA 小委員会、INQUA 小委員会、SCAR 小

委員会、SCOSTEP-STPP 小委員会、FE・WCRP 合同分科会について、委員長から活動状況が報告された。IASC 小委員会からは Arctic Science Summit Week (ASSW) の函館での開催 (2007 年 4 月) が決定したこと、IMA 小委員会からは第 2 回地質遺産サイトへ日本からの申請を検討している状況等、INQUA 小委員会からは第 21 回 INQUA 大会の報告 (資料共有)、SCAR 小委員会からは隔年で開催される科学総会 SCAR2024 (チリ) の報告、SCOSTEP-STPP 小委員会からは 5 カ年プログラム PRESTO の後継を検討している状況、IUGS 分科会からは日本から新たな地質遺産 (Geoheritage) に雲仙や喜界島を始めとする 2 件が IUGS-IGC 総会 (韓国) で選出されたこと、IUGG 分科会からは毎年作成している Yearbook や来年開催される Associations の情報、IGU 分科会からは 4 年に一度開催される総会と新たな執行部体制について、ICA 小委員会からは新たな委員を加えて第 2 回小委員会を開催予定であることや今後アジアの連携強化について、SCOR 分科会からは総会 SCOR2024 を 10 月に中国で開催予定であること、FE・WCRP 合同分科会からは FE の活動状況に加えて WCRP のコアプロジェクト GEWEX が第 9 回国際会議を札幌で開催 (2024 年 7 月) したこと、WDS については国際データネットワークを豪州で開催予定 (2025 年 10 月) である状況などが詳しく紹介された。加えて、国際団体の各種役員に現在就任中の委員や、新たに日本から選出された委員等について情報共有があった。これらの活動報告に関し、三枝委員から地球惑星科学国際連携分科会が主導して日本学術会議における重要な国際活動を広く紹介するような機会を計画してはどうか (学術フォーラム等) という提案があった。

(3) 加入国際学術団体の活動状況調査について

委員長より、加入国際学術団体の活動状況調査の必要性や記入時の要点について説明があった。続いて IUGG から準備状況の報告があった。

(4) 分科会委員の追加について

今回は委員追加の提案はなかった。

(5) その他

佐竹委員より、12 月 27 日午後に地球惑星科学委員会の合同分科会を開催し、ロードマップ等について議論する予定であることが報告された。

以上